



バラの会  
くすのき しんすけ  
楠 晋典 議員

## 人口減少対策

**Q** どうすれば郷土愛がはぐくまれるか。

**A** 豊かな郷土愛を育むためには、学校、家庭、地域の連携と協働が必要。学校ではふるさとに対する理解を深め、地域を担っていこうとする心情を育成している。

**Q** 生まれ育った地域での自然体験、例えば友達と夕日を見るとか、家族で海で遊ぶといった自然体験は、積極的な心の育成や体力・学力へ多大ないい影響を与えるだけでなく、ふるさとのいい思い出となることで郷土に対する誇りや郷土愛を育む最もいい活動である。子供たちに郷土愛を育む場面をぜひ準備していくことが、本市の人口減少対策としても重要なことではないかと思うかどうか。

**A** ふるさと教育が十分でないから高校卒業後の進路が他市へとなるわけではない。自分がしたいことがなかなかふるさとにはないから仕方なく出ていくという実情がある。子供

たちを残すためには、ほかの何らかの対応も必要ではないかと思う。

**Q** 高校卒業し、就職・進学される方の中には、ある時期、都会で働く人もいるだろうと思うが、故郷に戻って働きたいと思わせるには郷土愛が強く育まれていないと戻ってこないと思う。また、残酷な事件が時々未成年に起こる。社会的に必要とされていると感じる気持ち、自己肯定感の不足が問題視されている。今、家庭環境やコロナなどで子供たちが社会や地域で自分の存在を感じられる活動が制限されている。短い少女の時代、取り返しのつかない時期をどうにか有意義な活動ができるよう学校、保護者、地域が協力できる体制づくりが必要であると思うかどうか。

**A** 謙虚を美德とする国民性も自信の不足につながることもあるのではないか。いろいろな行事で例えば子供たちが自ら企画するような仕組みも必要で、その中で自信につながり社会で必要とされることを認識できると思う。PTA連合会でもそのような話題があればとも思う。

### 【その他の質問項目】

◇聞く力を育てよう

◇市民目線の行政

◇クールビズとは

◇残業代はちゃんと払われているか



庶民の会  
はやしだ つとむ  
林田 勉 議員

## 高規格道路（島原道路）開通を利用した将来の街づくりを！

**Q** その①・「道の駅しまばら」構想について。今、盛り込まなければその実現が困難になる。その後の協議、動向はどうなっているのか。

**A** 県と半島3市、関連団体で休憩施設整備検討会が開催され、事業内容等検討された。今後は整備計画素案等作成するプロジェクトチームを設置し検討していきたい。

**Q** 他市からの設置要望はあるのか。県の意向や候補地は上がっているのか。

**A** 他市からの設置要望はない。県議会でも本市からの話を確認。本市でどこが適地か詰めていきたい。

**Q** 今後の動向は。

**A** 基本構想等がまとまれば議会に報告し、国・県と連携し推進していきたい。

**Q** その②・移住定住の促進に「郊外型通勤団地」構想を政治・政策主導で実現できないか。

**A** 道路開通後は交流人口拡大や農業の活性化など様々な効果を期待できている。現在、各地域の特性を抽出し適地を選定し、課題と市や民間の役割を検討していきたい。

## 高齢化に対応する街づくり

**Q** 高齢化が進み不要な住宅の増加や農地など耕作放棄の増加が目に見えている。荒れる前に次の担い手に引き継ぐシステムができないか。

**A** 住宅や農地、山林は個人財産なので所有者に適正に管理してもらうのが原則。一方、空き家・耕作放棄地などをつくらないため、一元的な情報発信の必要性があると思う。これからは進めていくべきと考える。

## 新型コロナウイルス感染 妊産婦・幼児関連の状況はどうか

**Q** 妊産婦・乳幼児の入院治療の状況・対応は？安心できるのか。

**A** 妊産婦・就学前児童の感染者数の公表はなく把握できていない。ただし、産院と長崎大学や長崎医療センターとの連携は十分とれていることであった。